



# 決算説明会

## 第29期（2018年2月期）

株式会社グラフィックデザイン

# 7 8 4 7

2018年 4月 18日（水）



## 免責事項

本プレゼンテーション資料に記載されている株式会社グラフィックデザインの今期の事業内容に関する記述、将来の数値、各種グラフなどは弊社における将来の見通しを示すものです。当該資料の作成にあたっては、経営部門が入手した情報に基づく予測及び判断を基礎としております。

したがって、これらの実現については、弊社が継続して事業を展開する上で不可避の潜在的リスクである、経済状況、新サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性を含んでいます。

本プレゼンテーションにおいて使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標または出願商標です。



# 1. 2018年2月期の実績

(財務ハイライト)



# 2018年2月期の実績

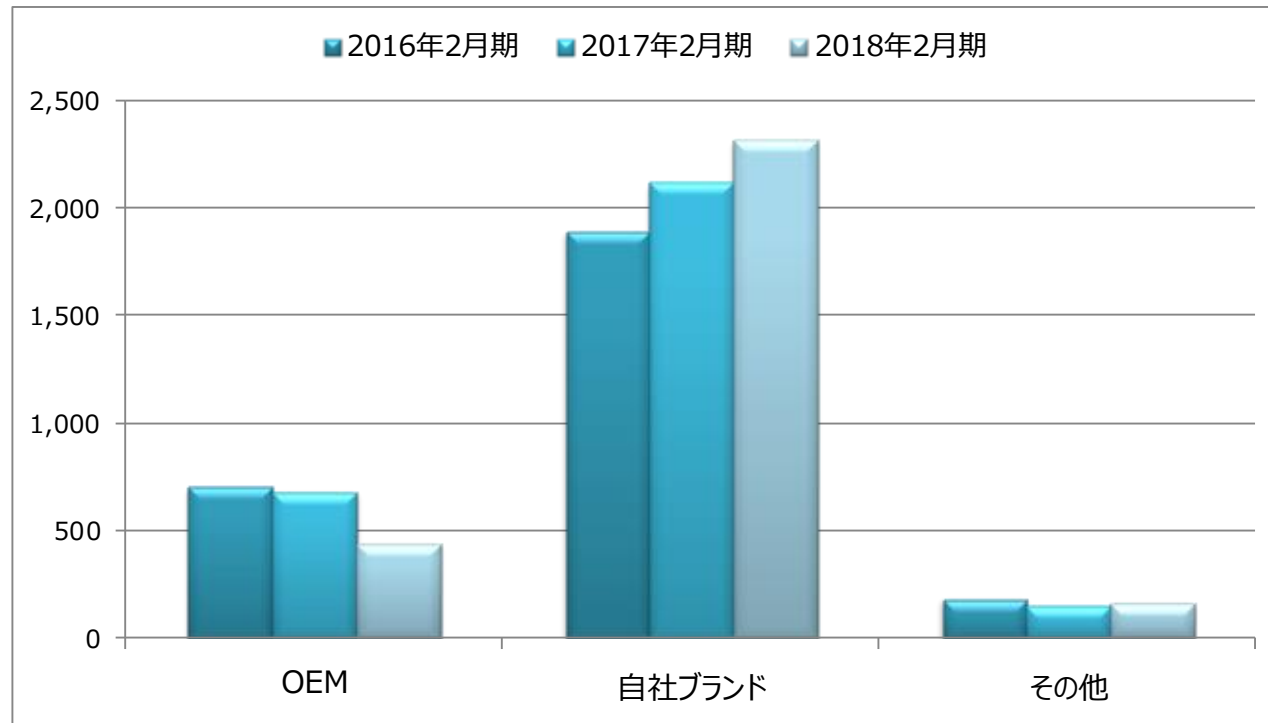
(百万円)

	2017年 2月期	構成比	2018年 2月期	構成比	前期比 増減率
売上高	2,946	-	2,921	-	0.8% 減
営業利益	326	11.1%	414	14.2%	27% 増
経常利益	362	12.3%	400	13.7%	10% 増
当期純利益	248	8.4%	257	8.8%	4% 増



# 売上構成（実績）

（百万円）



	OEM	自社ブランド	その他	計
2016年2月期	700	1,889	181	2,770
2017年2月期	680	2,118	148	2,946
2018年2月期	441	2,316	164	2,921



# 貸借対照表

(百万円)

科目	2017年2月	2018年2月
資産の部		
流動資産	4,429	4,309
固定資産	936	1,039
有形固定資産	676	784
無形固定資産	31	29
投資その他の資産	228	225
資産合計	5,366	5,349

総資産	5,366	5,349
純資産	4,232	4,361
自己資本比率	78.9%	81.5%

科目	2017年2月	2018年2月
負債の部		
流動負債	907	747
固定負債	227	241
負債合計	1,134	988
純資産の部		
資本金	589	589
資本剰余金	582	582
自己株式	-456	-456
利益剰余金	3,518	3,648
株主資本合計	4,235	4,364
評価・換算差額等合計	-3	-3
純資産合計	4,232	4,361
負債・純資産合計	5,366	5,349



## 2. 2019年2月期の通期見通し

(業績見通し)



# 2019年2月期業績見通し

(百万円)

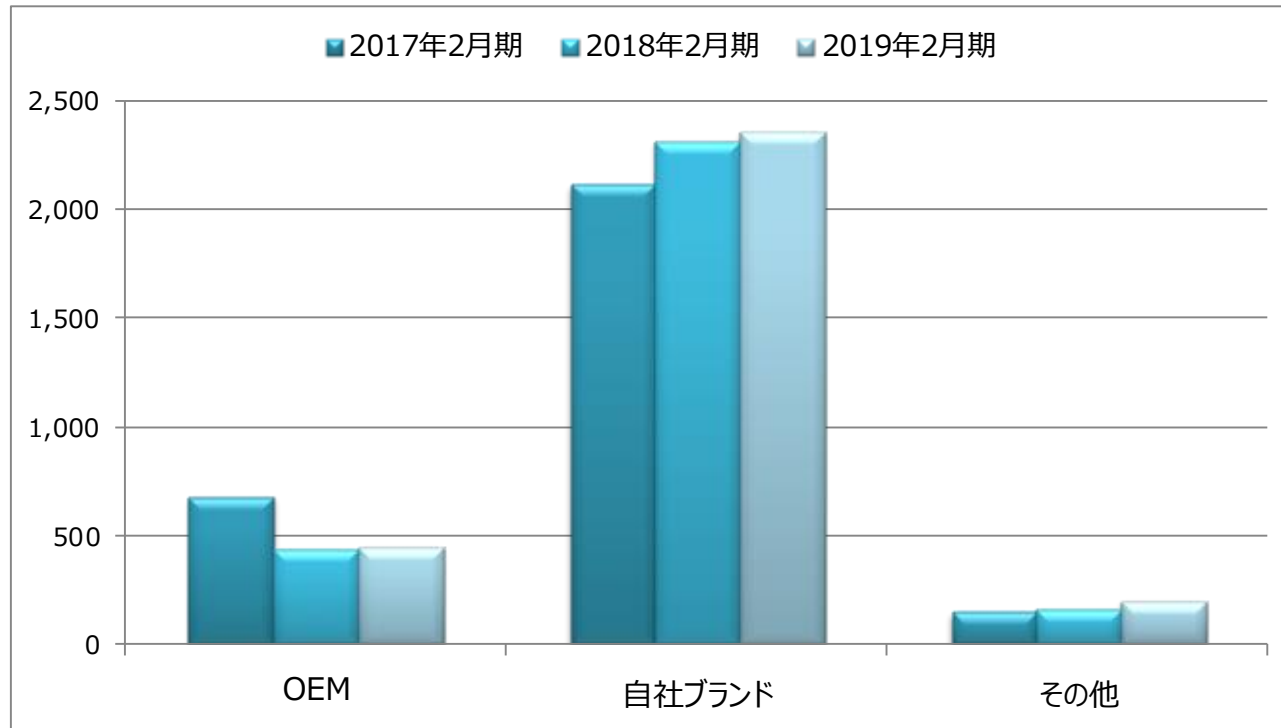
	2018年2月期				2019年2月期 予想				対2018 増減率
	上期	下期	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	
売上高	1,326	1,595	2,921	-	1,345	1,665	3,010	-	3.0% 増
営業利益	124	290	414	14.2%	125	299	424	14.1%	2.4% 増
経常利益	122	278	400	13.7%	125	294	419	13.9%	4.8% 増
当期純利益	75	182	257	8.8%	82	198	280	9.3%	8.9% 増





# 売上構成（見込み）

（百万円）

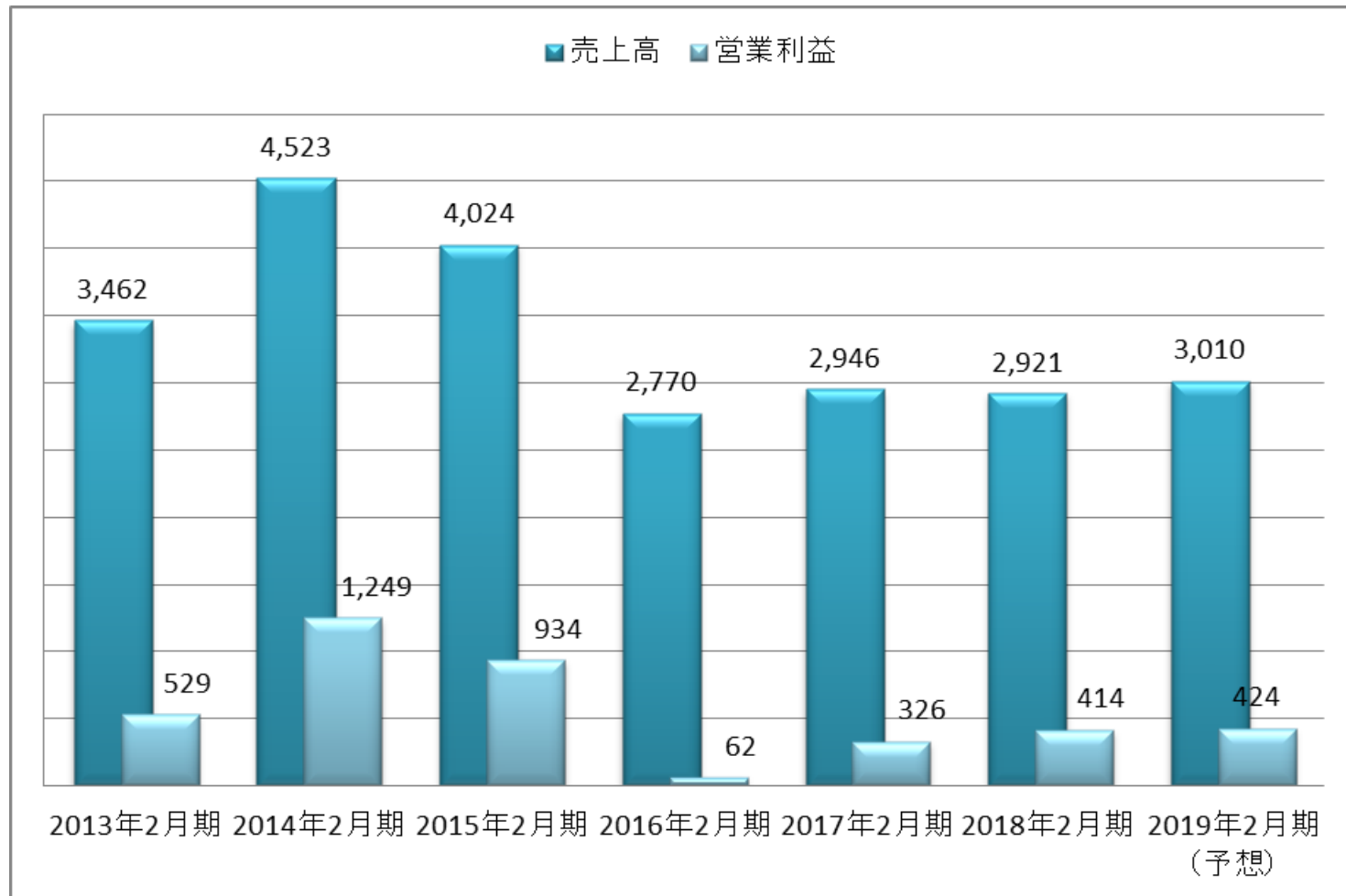


	OEM	自社ブランド	その他	計
2017年2月期	680	2,118	148	2,946
2018年2月期	441	2,316	164	2,921
2019年2月期	450	2,360	200	3,010



# 業績の推移

(百万円)

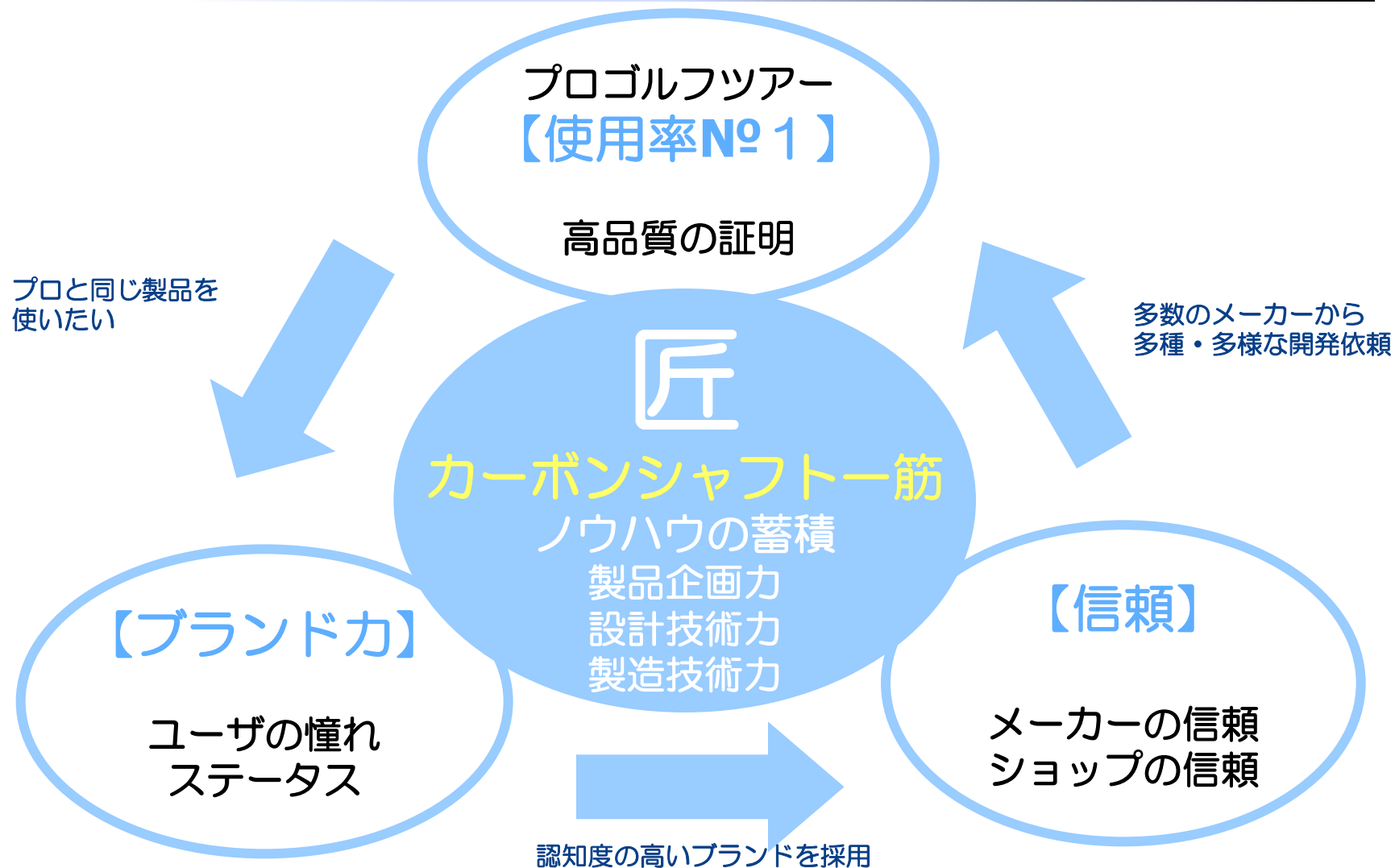




### 3. 現状と今後の展開



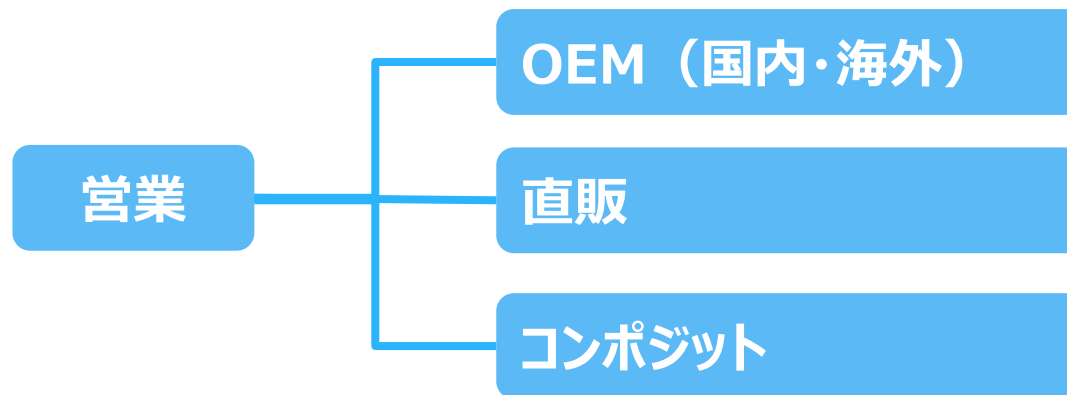
# 当社の強み





# 新組織

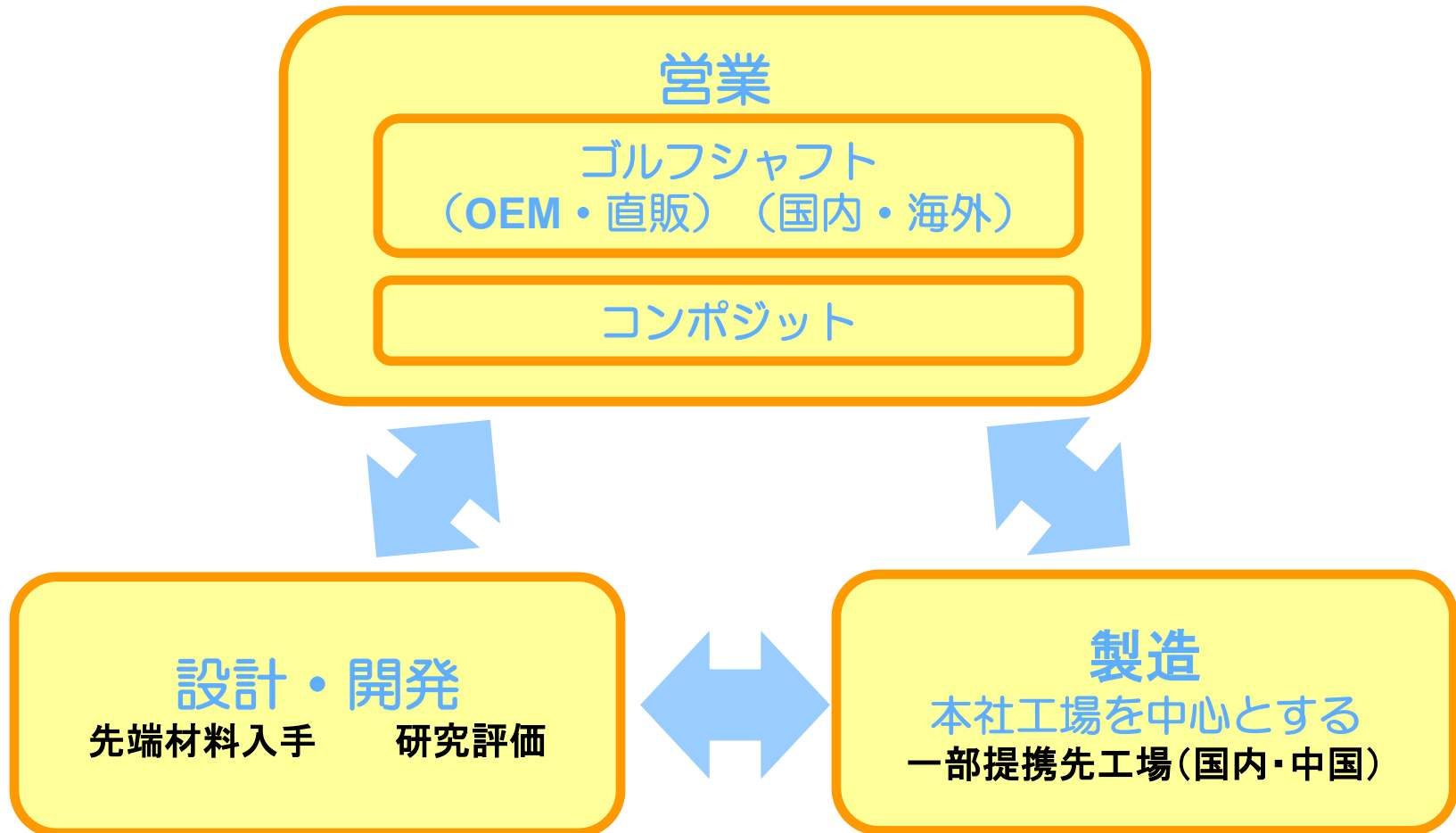
## 1. 営業を一括集中



## 2. 社長室の中に、特別プロジェクトチームを編成



# 体制









# ゴルフ市場動向（１）

— 2017年度のゴルフ市場状況 —

※ゴルフ用品全体が増加

	前年比
ゴルフ場入場者数	99.7%
ゴルフ用品全体の販売金額	104.3%
ゴルフクラブ販売金額	105.7%
ゴルフ消耗品販売金額	100.2%

【 ゴルフクラブの 前年比 】

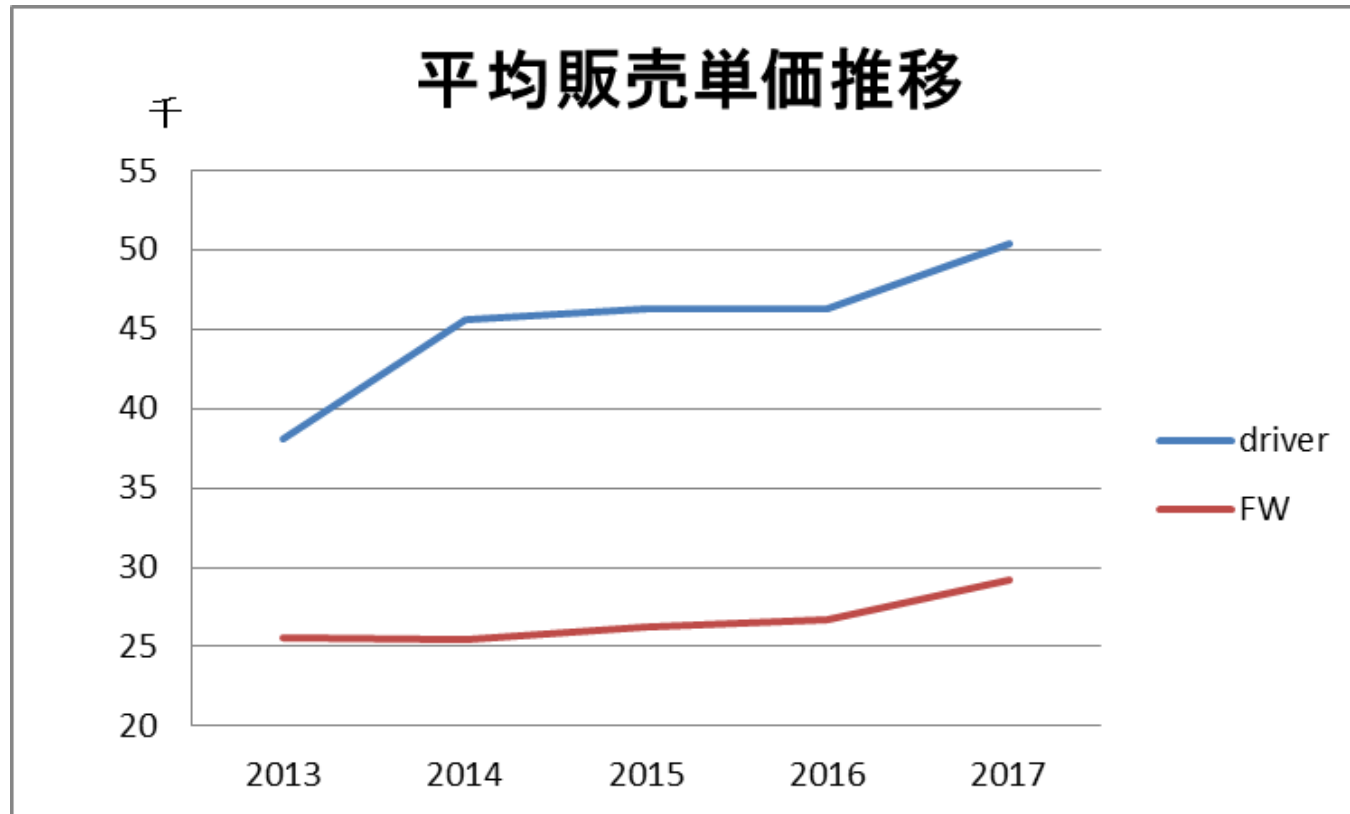
品種	販売数量	販売金額
Driver		
	97.9%	106.8%
Fairway wood		
	95.9%	103.9%

— 2017年度の速報 —

- ・ゴルフクラブ全般が、販売数量はマイナスだが、販売金額はプラス



## ゴルフ市場動向（２）



- ・クラブ価格の適正化が進み始めている。





## ゴルフ市場動向 (3)

### 【ゴルフ市場活性化のための業界の取り組み】

#### 1. 新規ゴルファー創出（新規ゴルファーの参入促進、育成）

- ・「ゴルマジ」・「楽ゴル」・「Gちゃれ」
- ・「試打クラブ無償提供」・「大学へのクラブ提供」など
- ・レンタル制度の充実により新規ゴルファーの創出(シェアリングエコノミー)検討

#### 2. R&Aによる「9ホールゴルフ」の促進（英国でアマチュア競技も開催）

- ・「時間が掛かりすぎる」・「費用が掛かりすぎる」を払しょく

#### 3. R&AとUSGAが「ゴルフ規則を近代化するための変更案」（ルールの簡素化）を発表

- ・各種罰則の免除や軽減
- ・グリーン・バンカーの規制緩和
- ・プレーのペース支援など大幅な変更が検討されている

#### 4. 各クラブメーカーによる「高反発クラブ対応」

- ・飛距離の落ちたシニア層の繋ぎ止め（あえてルール非適合）

※選手会長に石川遼選手を起用し、ゴルフ業界の活性化を図る



# シャフト事業の今後の展開

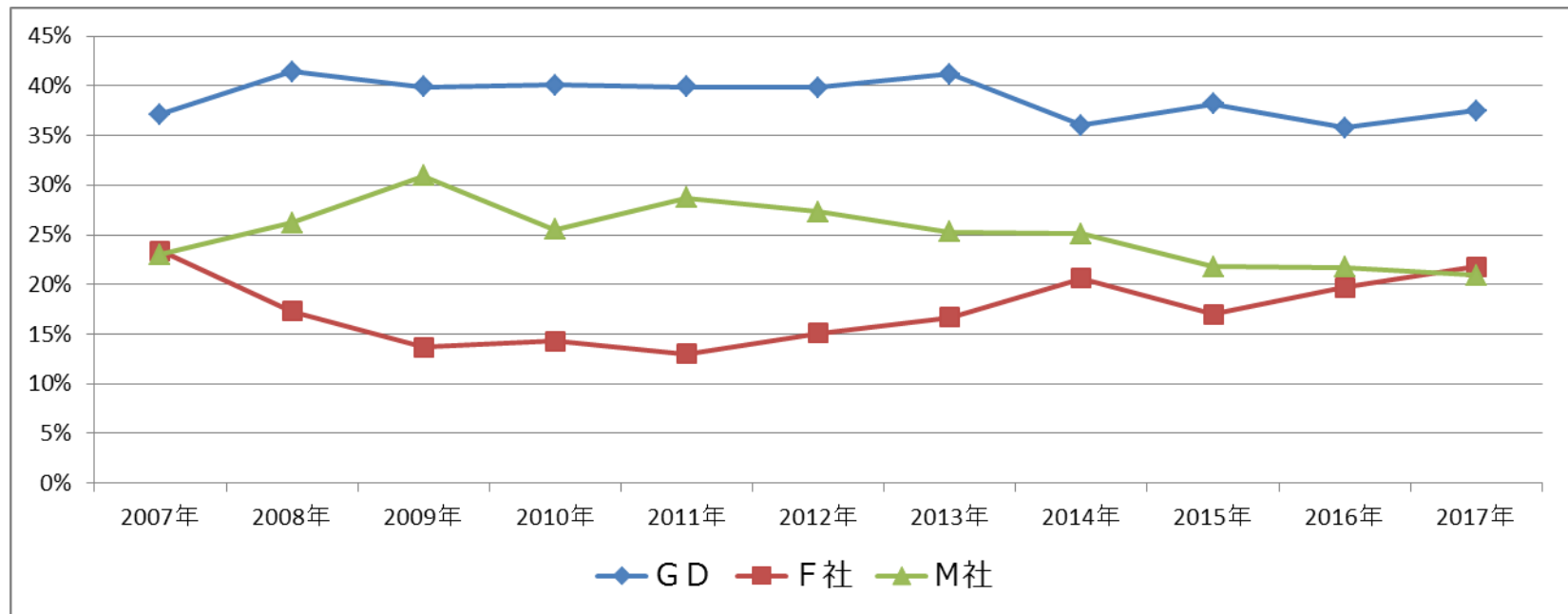
1. 国内ツアー使用率No. 1 を維持
  - ・ブランド地位を一段と強固に！
2. 新製品開発
  - ・毎年 1 モデルの主力製品を発売
  - ・プレミアムゾーンのリシャフト専用シャフトの継続開発
3. ブランド力を生かした更なるシェア拡大
  - ・リシャフト市場の拡大  
(各施策による販売店満足度向上⇒GDシャフト発注数UP)
  - ・他業種とコラボした販促活動
4. 海外展開
  - ・アジア市場への拡販
  - ・米国プロツアーへのアプローチ強化
  - ・フィッティングビジネス市場拡大への対応



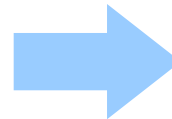


# 国内ツアー（10年間の推移）

## 日本プロツアー Driver Shaft使用率（男子）



- 品質における信頼性の構築
- ブランドの確立が 強固



- カスタム品販売拡大
- リシャフト市場での販売拡大



# 自社ブランド (2018モデル)

## — Tour AD 2018モデル I Z —

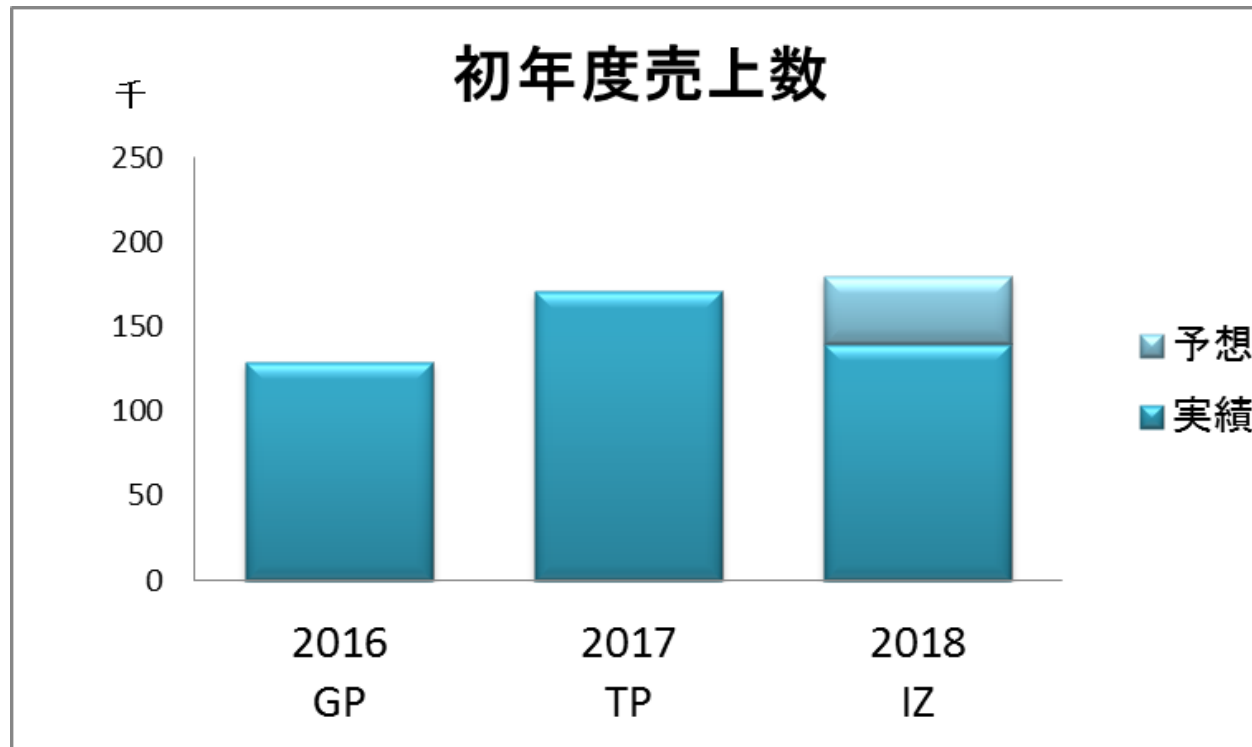


**I Z**  
**【Into The Zone】**  
 ゾーンに入る

ツアープロ使用率の高いPT  
 とDIのシャフト特性を融合



# 自社ブランド 販売状況



※販売開始から1年間の実績（8月～翌7月）

## 2018モデル「IZ」

好調だった2017モデル「TP」と同等な水準



# 自社ブランド

【フェアウェイウッド専用シャフト（Fシリーズ）】



試打会での評判良好（PTのようにしなり振りやすい！）

【リシャフト向けプレミアムゾーンの新製品（秩父）】



試打会での評判良好（飛距離UP！）

口コミで広がりを見せている

※FW・UT・アイアン用を順次発売予定



# 自社ブランド展開

## Wood



—ラインナップ—

IZ TP  
MT GT  
DJ PT

## Utility (Hybrid)



- 米国での需要が高まる  
アンから  
yへ

## Iron



軽量からスチールライクまで対応

## 軽量シャフト(40g台)



## プレミアムゾーン

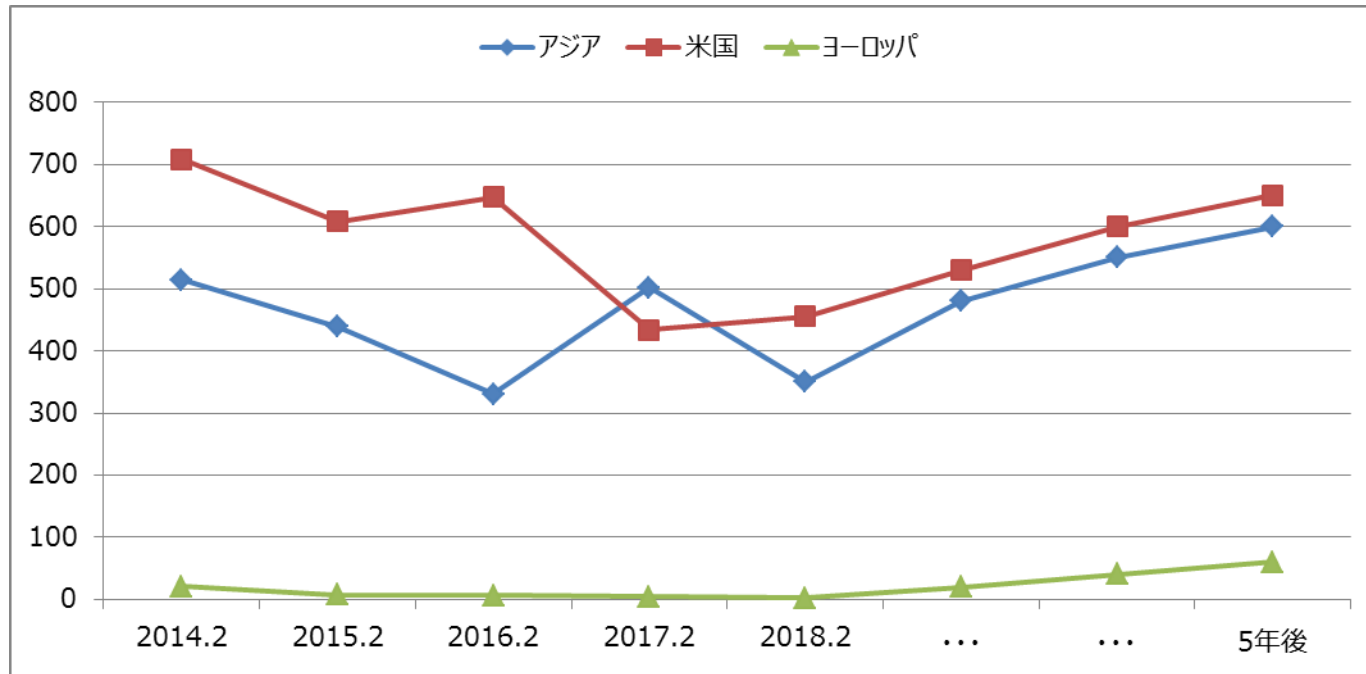




# 海外売上推移

## 海外地域別売上推移イメージ

(金額ベース)



注) OEM及び自社ブランドのすべての売上が対象

※ Tour ADのブランド力を浸透させて自社ブランドの拡販に注力

※ 米国専用モデルの開発





# テストセンター活用

## テストセンターの活用による 販売促進

ハイスピードカメラ



試打ロボット



レーザー弾道測定機



## 【新分野開拓】





# コンポジット

— 各部署にコンポジット専任を配置 —

## 【営業部門】

ゴルフシャフト・サイクルフレーム販売で  
蓄積されたノウハウの応用  
※コンポジット専任

## 【開発部門】

カーボン積層技術ノウハウ  
※コンポジット専任

## 【生産技術部門】

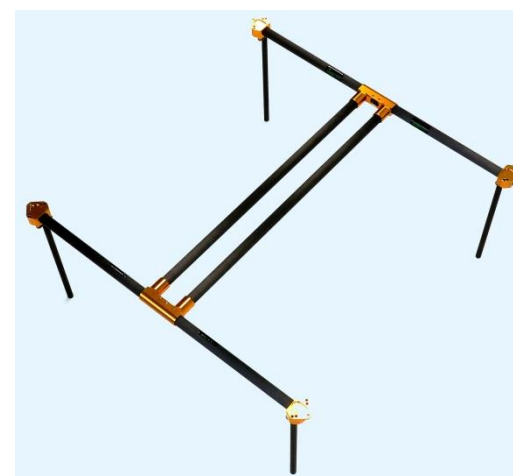
カーボン加工技術信頼の品質  
※コンポジット専任

※各部門のノウハウを集結しつつ、コンポジット専任体制でスピードアップ



# 採用実績

- 自動車関連  
オプションパーツ（ストラットタワーバー他）
- 日用品関連  
文具等
- ドローン関連  
ドローン用CFRPフレーム他
- 産業関連  
ロボット用パイプ等
- その他多分野





# パイプ製品加工技術の研究開発

## 【カーボンパイプ特殊加工】

・異形パイプ加工の研究・試作

楕円パイプ  
角パイプ  
曲げ加工  
太径パイプ  
細径パイプ

※十数社と取引

※幅広い産業分野への展開目指す





# 展示会参加（取引先開拓）

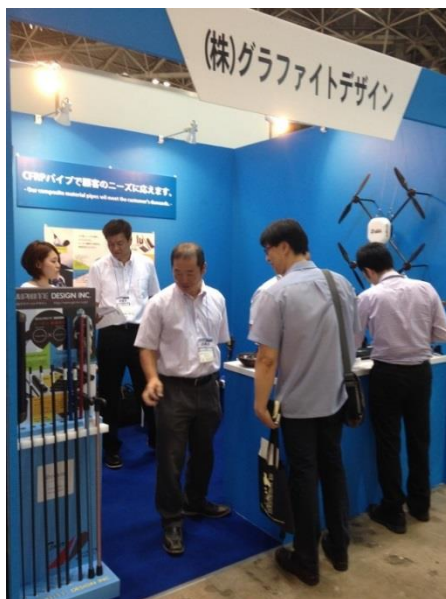
2013.6 出展開始

2017.6 機械要素技術展（M-Tech）に出展

2017.10 IPF Japan 2017 (国際プラスチックフェア)に出展

2018.6 機械要素技術展（M-Tech）に出展予定

- ・新たな業界との取引開始
- ・OEM供給開始

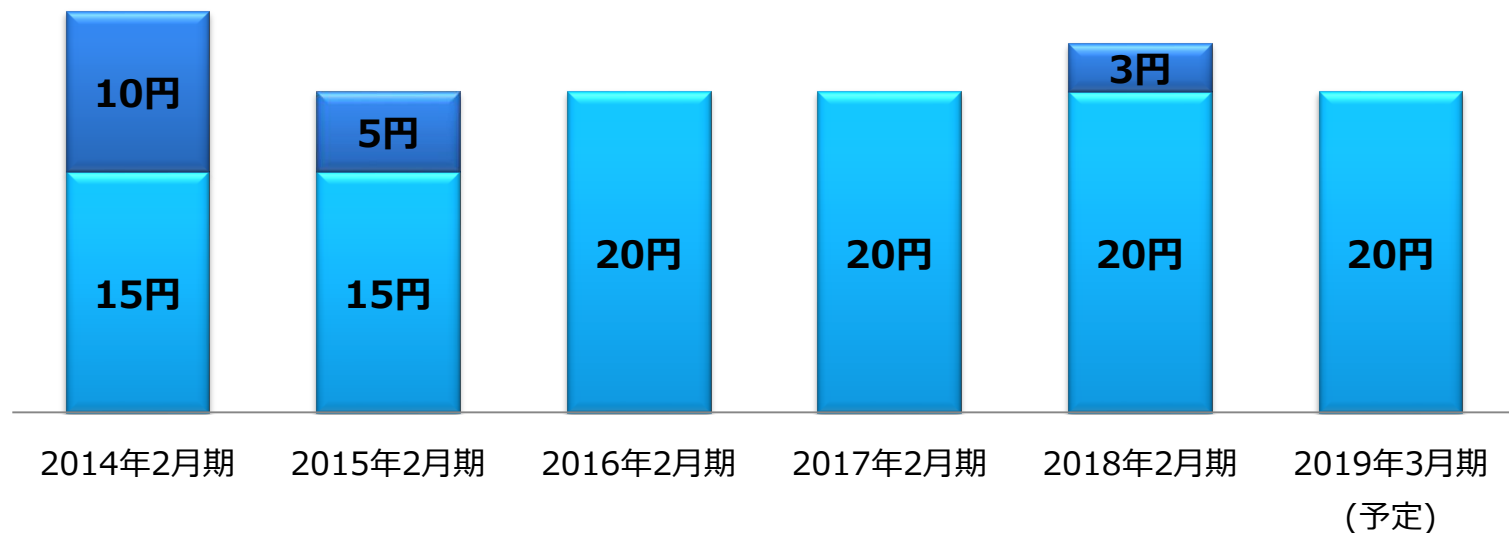




# 配当

配当金は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していきます。

■ 普通配当 ■ 特別配当



配当性向： (15.0%) (19.4%) (79.7%) (51.8%) (57.3%) (45.9%)



本日は、ご清聴ありがとうございました。  
今後とも、宜しく御願いたします。